

インタビュー

人材育成や技術開発に投資し

次の現場で還元するサイクルを確立!

Win-Winの関係構築目指す!

—(株)ウイズソル

代表取締役社長



代表取締役社長

外輪 純久氏に聞く

施工会社として躍進を遂げてきた。2017年には社名を「WIT H SOL」とし、顧客の様々な課題を

に、新たな未来に向けて検査技術開発の更なる高度化を図ろうとしている。

そこで今回、同社・外輪社長に経営に関する考え方や検査技術の開発状況、今後の事業方針等について話を伺った。

◇ ◇ ◇
—社長に就任されて半年が経過しましたが、どのような活動を重視されてきましたか?

外輪 就任直後に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、身動

共々(WITH)考え、解決(SOLUTION)する想いを社名に込めた。

今年4月に代表取締役社長に就任した外輪純久社長も60年近くにわたって社会

が取れない状態が2、3カ月ほど続いた。取引先の定修工事等への影響を懸念したが、一部計画で下期以降に工期がずれ込んだものの、上期は比較的安定した仕事量を確保できた。ただ、景気の悪化が遅れて検査需要に波及するケースもあるため、ウイズコロナ時代を見据えた業務拡大を如何に進めるべきか、様々な事態を想定して考えを巡らせているところだ。

その中で、検査業務に必要な知識や技能を身につけるべく、本場で集合教育を行うなど、社員の資格取得等教育に力を入れてきた。

最近では、J S N D I のレベル2合格率も格段に上がっており、人材育成の成果が着実に表れている。ただし、今年の秋期試験はコロナの影響で集合教育が難しいため、Webを使ったオンライン研修会に切り替えて実施している。毎年3月と9月に実施する各部門の責任者を集めたライン長会議も今年ではWeb会議システムを採り入れて実施し、スムーズにベクトル合わせを行う事ができた。今後は、お客様の要望に応じて、Web上で新しい検査技術の実演や紹介、商談を行う仕組みも展開していきたい。

共々(WITH)考え、解決(SOLUTION)する想いを社名に込めた。

今年4月に代表取締役社長に就任した外輪純久社長も60年近くにわたって社会

が取れない状態が2、3カ月ほど続いた。取引先の定修工事等への影響を懸念したが、一部計画で下期以降に工期がずれ込んだものの、上期は比較的安定した仕事量を確保できた。ただ、景気の悪化が遅れて検査需要に波及するケースもあるため、ウイズコロナ時代を見据えた業務拡大を如何に進めるべきか、様々な事態を想定して考えを巡らせているところだ。

その中で、検査業務に必要な知識や技能を身につけるべく、本場で集合教育を行うなど、社員の資格取得等教育に力を入れてきた。

最近では、J S N D I のレベル2合格率も格段に上がっており、人材育成の成果が着実に表れている。ただし、今年の秋期試験はコロナの影響で集合教育が難しいため、Webを使ったオンライン研修会に切り替えて実施している。毎年3月と9月に実施する各部門の責任者を集めたライン長会議も今年ではWeb会議システムを採り入れて実施し、スムーズにベクトル合わせを行う事ができた。今後は、お客様の要望に応じて、Web上で新しい検査技術の実演や紹介、商談を行う仕組みも展開していきたい。

共々(WITH)考え、解決(SOLUTION)する想いを社名に込めた。

今年4月に代表取締役社長に就任した外輪純久社長も60年近くにわたって社会

が取れない状態が2、3カ月ほど続いた。取引先の定修工事等への影響を懸念したが、一部計画で下期以降に工期がずれ込んだものの、上期は比較的安定した仕事量を確保できた。ただ、景気の悪化が遅れて検査需要に波及するケースもあるため、ウイズコロナ時代を見据えた業務拡大を如何に進めるべきか、様々な事態を想定して考えを巡らせているところだ。

その中で、検査業務に必要な知識や技能を身につけるべく、本場で集合教育を行うなど、社員の資格取得等教育に力を入れてきた。

最近では、J S N D I のレベル2合格率も格段に上がっており、人材育成の成果が着実に表れている。ただし、今年の秋期試験はコロナの影響で集合教育が難しいため、Webを使ったオンライン研修会に切り替えて実施している。毎年3月と9月に実施する各部門の責任者を集めたライン長会議も今年ではWeb会議システムを採り入れて実施し、スムーズにベクトル合わせを行う事ができた。今後は、お客様の要望に応じて、Web上で新しい検査技術の実演や紹介、商談を行う仕組みも展開していきたい。

共々(WITH)考え、解決(SOLUTION)する想いを社名に込めた。

今年4月に代表取締役社長に就任した外輪純久社長も60年近くにわたって社会

が取れない状態が2、3カ月ほど続いた。取引先の定修工事等への影響を懸念したが、一部計画で下期以降に工期がずれ込んだものの、上期は比較的安定した仕事量を確保できた。ただ、景気の悪化が遅れて検査需要に波及するケースもあるため、ウイズコロナ時代を見据えた業務拡大を如何に進めるべきか、様々な事態を想定して考えを巡らせているところだ。

その中で、検査業務に必要な知識や技能を身につけるべく、本場で集合教育を行うなど、社員の資格取得等教育に力を入れてきた。

最近では、J S N D I のレベル2合格率も格段に上がっており、人材育成の成果が着実に表れている。ただし、今年の秋期試験はコロナの影響で集合教育が難しいため、Webを使ったオンライン研修会に切り替えて実施している。毎年3月と9月に実施する各部門の責任者を集めたライン長会議も今年ではWeb会議システムを採り入れて実施し、スムーズにベクトル合わせを行う事ができた。今後は、お客様の要望に応じて、Web上で新しい検査技術の実演や紹介、商談を行う仕組みも展開していきたい。

共々(WITH)考え、解決(SOLUTION)する想いを社名に込めた。

今年4月に代表取締役社長に就任した外輪純久社長も60年近くにわたって社会

が取れない状態が2、3カ月ほど続いた。取引先の定修工事等への影響を懸念したが、一部計画で下期以降に工期がずれ込んだものの、上期は比較的安定した仕事量を確保できた。ただ、景気の悪化が遅れて検査需要に波及するケースもあるため、ウイズコロナ時代を見据えた業務拡大を如何に進めるべきか、様々な事態を想定して考えを巡らせているところだ。

その中で、検査業務に必要な知識や技能を身につけるべく、本場で集合教育を行うなど、社員の資格取得等教育に力を入れてきた。

最近では、J S N D I のレベル2合格率も格段に上がっており、人材育成の成果が着実に表れている。ただし、今年の秋期試験はコロナの影響で集合教育が難しいため、Webを使ったオンライン研修会に切り替えて実施している。毎年3月と9月に実施する各部門の責任者を集めたライン長会議も今年ではWeb会議システムを採り入れて実施し、スムーズにベクトル合わせを行う事ができた。今後は、お客様の要望に応じて、Web上で新しい検査技術の実演や紹介、商談を行う仕組みも展開していきたい。



ワイヤレス対応配管連続板厚測定装置「VDP-32」

体的に挙がっている相談内容を
外輪 当社は各種プラン
ト、火力発電所関連設備の
腐食減肉検査を中心に業務

を拡大してきたが、とりわけ最近
は配管検査に対する要望が増えてきた。設置から
40年以上が経過し老朽化した配管が
現役で稼働しており、漏洩等のトラブ
ルリスクを多く抱えている。今までの技
術では検査、診断が難しく、最新の技
術も適用する事で、配管の腐食減肉状
況はもとより、内部の異物堆積状況の解
析まで可能になってきた。そのため、今
後は「配管の検査技術開発の更なる高
度化」を図っていく考えだ。勿論、海外
の優れた検査機器があれば、積極的に採
用していきたい。

実際に、配管用超音波自動板厚測定装置「UDPシリーズ」に
関しては、無線機を搭載してワイヤ
レス化を実現するとともに、モーター
駆動による自動制御で走行する機能も
搭載し、遠隔操作で連続板厚測定を可
能にした「UDP-32」を開発、実用化が
進んでいる。また、ラインセンサ式配管
R-T装置「ラインスキャナ」も放射線源
を用いて保温配管の減肉状況(残肉厚
評価)を、保温材を解体せずに検査でき
る事から、保温材脱着等の付帯工事に
かかるコストや時間を削減でき、お客

客様に喜んで頂いている。空撮する「
マイクロドローン」は、目視検査が難
しかった工場屋根裏やボイラ・タンク
内部、海上配管の外面、煙突内面等
の撮影を可能にした。この他、敷設
された配管や、配管が密集した狭
隘部の検査に遠隔操作が可能な6
輪走行台車も開発している。

革の進捗状況は? 外輪 当社のIT
開発センターにて、得られた検査
データをプログラム化し、統一した
フォーマットでお客様に報告書を作
成したところ、新たな強みとなった。
超音波探傷で出力した波形データ
等もITの活用により、見やすいレ
ポート形式で作成可能となり、お客
様に評価されている。報告書はエク
セルのみで作成していた頃は3時
間ほど要していたが、システムを
活用する事により約2分で詳細な
書類を作成できるようになった。
「新経営管理システム」も新たに
導入し、全社各部門の勤怠管理を
本社で一元管理する事で、働き方
改革の残業規制に準じた業務・労
働改善に役立てている。

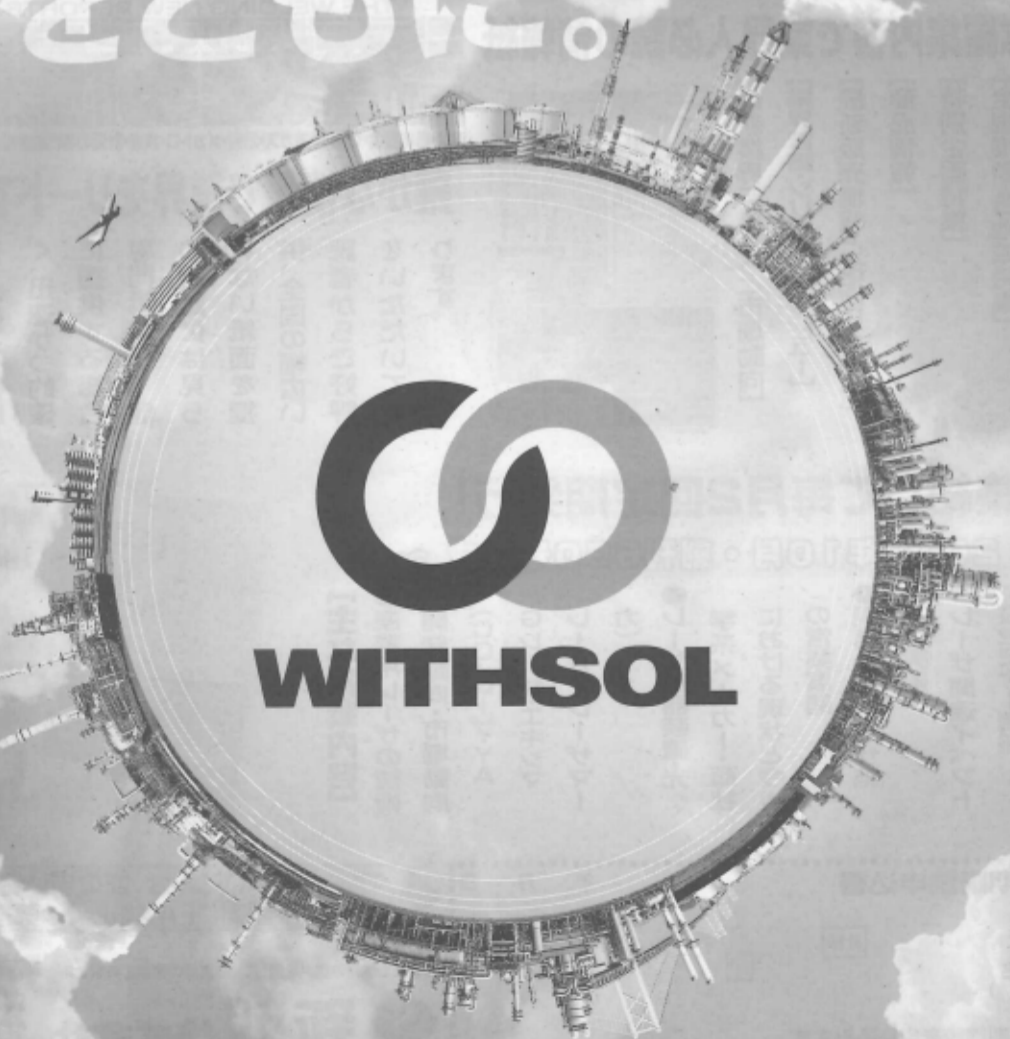
今年の新卒採用も30名の採用を
目標に計画を組んでおり、優秀な
学生に内定を出しているところだ。
なお、昨年から動いてきたベトナム
人技能検査員5名の採用計画につ
いては、新型コロナウイルスの影響
で今春の渡航が難しくなり、未だ
現地で日本語教育を受けてもらっ
ていないのが実情だ。ただ将来を
見据えると、有望な戦力になると
期待しているため、コロナ収束の
折に渡航して貰い、日本の文化に
慣れ親しんだ段階で入社手続きを
進めていく方針である。

外輪 当社グループは既に売上
100億円を達成しているが、これ
からは「当社単独での売上100億
」を達成するため、人材育成と技
術の研鑽に更に磨きをかけてい
く必要があると考えている。

外輪 当社は、社会の安全と安心を
守り続ける事で、検査業界の地
位向上に繋がっていききたい。

外輪 ありがとうございます。

守る、をともに。



WITHSOL

株式会社ウイズソル

本社:〒733-0035 広島県広島市西区南観音6丁目2番13号 TEL (082)291-2500 FAX (082)291-2515

業務内容: 非破壊検査・熱処理工事・設備診断・技術者派遣

所在地: 北海道・宮城・福島・茨城・千葉・神奈川・大阪・兵庫・岡山・広島・山口・愛媛・長崎・大分・鹿児島

http://www.withsol.co.jp